



# WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ  
(創立1959年11月12日)



UNITE  
FOR  
GOOD

よいことのために  
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

## よいことのために手を取りあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

## 第3014回例会 (令和8年2月16日)



ホームページQR

### [ゲスト紹介]

- ◆MANABI外語学院 引率教員 坂井 幸子様
- ◆KHADKA ANISHA(カドカ アニサ)様
- ◆WANNAKAWATHTHA WADUGE SASIPRABHA  
SANDEEPANI FERNANDO(ワナカワッタ ワドゥゲ  
サシプラバサンディパニ フラナンド)様

### [会長挨拶]

窪田 秀徳 会長

皆さま、こんにちは。

本日の例会は、いつも以上に心が躍る時間になることと思います。

2月7日に開催されました「MANABI祭」スピーチコンテストにおいて、最優秀賞・優秀賞を受賞されたお二人をお迎えしております。

上田ロータリークラブでは、タイのワットシンRCへのご寄付をはじめ、MANABI様を通じて国際交流を続けてまいりました。本年は横沢さん、藤森さん、金子直前会長、小林ご夫妻にもご参加いただき、交流の輪がさらに深まったことを大変嬉しく思っております。

さて、最優秀賞を受賞されましたカドカ アニサさん(スリランカ)、タイトルは「日本で学んだこと」。

そして優秀賞を受賞されましたワナカワッタ・ワドゥゲ・サシプラバ・サンディパニ・フラナンドさん(スリランカ)、タイトルは「笑顔と感謝の力」。

さらに本日は、お二人をご指導されている講師の方を代表しまして坂井幸子先生にもご同席いただいております。上田ロータリークラブの例会にお越しいただき、ありがとうございます。

今回のコンテストは、予選で通常6名が選出されるどころ、あまりにもレベルが高く8名が本選へ進まれたと伺いました。本選でも審査は大変難航し、審査発表するまでの審査時間が延びるほどの接戦でした。審査委員長の

桑原様をはじめ、審査員の皆様、運営に携わられた皆さまのご尽力に、改めて敬意を表します。

私も当日拝聴し、率直に「驚き」と「感動」を覚えました。

特に印象的だったのは“つかみ”です。冒頭の一言で会場の空気を一変させる力。そして、計算されたユーモアと感動。スピーチとは、単に言葉を伝えるのではなく、人の心を動かす総合芸術なのだと学ばせていただきました。

また、各国のファッションショーでは、まるで海外を旅しているかのような時間を体験させていただきました。文化を知ること、人を知ること。そして人を知るとは、世界を広げること。その大切さを改めて感じました。

開会前の映像では、タイ訪問時の金子直前会長や小林委員長のお姿も映し出されていきました。日本語は世界でも習得が難しい言語の一つと言われています。その日本語を、短期間でここまで高いレベルに習得されている姿に、私は強い敬意と「言葉の力」の重要性を感じました。

ロータリーは、異なる文化や立場を理解し、友情を育み、世界平和に寄与することを理念としています。本日はまさに、その精神を体感できる貴重な例会です。

限られた時間ではありますが、どうぞ皆さま、若きスピーカーの言葉に心を傾けてください。そこには、私たち自身が学ぶべきヒント、そして未来への希望が必ずあります。

本日も実りある例会となりますことを願い、挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。

## [ゲストスピーチ]

### MANABI外語学院 第21回MANABI祭

#### スピーチコンテスト テーマ「私が見たニッポン」

##### ◆引率職員 日本語講師

坂井 幸子さん

上田ロータリークラブの皆様、本日は貴重な定例会の場にお招きいただき、誠にありがとうございます。ご紹介にあずかりました、MANABI外語学院教務課の坂井と申します。

まずはじめに、2月7日サントミュージゼにて開催された第21回MANABI祭に際して、ご協賛と、賞状を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。お陰様をもちまして、当日は会場に入りきれないほどのお客様をお迎えし、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

また、当日は上田市長土屋様にご祝辞をいただき、上田冷蔵株式会社の桑原様にはスピーチコンテストの審査委員長として厳正な審査をいただきました。そして、上田ロータリークラブ会長の窪田様、上田市議会議員の土屋様にご来賓としてお越しいただき、窪田会長には最優秀賞の授与を行っていただきました。皆様の温かいご支援に、重ねて感謝申し上げます。

今回のメインイベントであるスピーチコンテストでは、「私が見たニッポン」というテーマを掲げました。卒業年次の5クラス約90名の学生が10月より準備をはじめ予選に挑み、勝ち抜いた代表8名が本選の舞台に立ちました。留学生にとって、母国語ではない日本語で「自分の想い」を伝えることは、並大抵のことではありません。どれだけ勉強を重ねても、微妙なニュアンスの壁にぶつかります。それでも彼らは、自分の心にぴったりと当てはまる言葉を必死に探し、悩み、練習を積み重ねてきました。当日のスピーチは、留学生ならではの視点に溢れ、非常にレベルの高い、甲乙つけがたいものとなりました。

会場ではスピーチコンテストの他にも、ネパール、ミャンマー、スリランカ、インドネシアの学生によるファッションショーやダンスが披露され、SDGsや各国紹介の展示発表も行うなど、多文化共生のエネルギーに満ちた一日となりました。

私は大学卒業後、日本語教師の職に就きまして、MANABI外語学院に所属して6年目となります。現在、当学院では11カ国184名の学生が学んでおります。日本語だけでなく、茶道や着物体験、四季が感じられる上田城や海野町を散策し、俳句を詠むなど、この上田の豊かな自然の中で、日本の文化も学んでいます。学生たちは本当に元気でエネルギーが豊富です。しかし、その明るさの裏では、慣れない異国の生活で寂しさに胸を締め付けられたり、言葉の壁に悩み、立ち止まったりすることも少なくありません。それでも彼らは、決して諦めず、自分の夢に向かって必死に前を向き、努力を続けるその姿は、教師



である私から見ても本当に素晴らしく、誇らしく思います。この素晴らしい上田の地で、皆様に見守られながら学生たちが成長できることを、心より嬉しく思っております。

本日はMANABI祭のスピーチ出場者の中から輝かしい成績を収めた最優秀賞1名と優秀賞2名の内1名を連れて参りました。彼らが悩み、選び抜いた言葉のひとつひとつに、ぜひ耳を傾けていただければ幸いです。

まず一人目は優秀賞に選ばれましたスリランカ出身サシプラバさんです。タイトルは「笑顔と感謝の力」です。

続いて二人目は最優秀賞に選ばれましたネパール出身カドカ アニサさんです。タイトルは「日本で学んだ事」です。

##### ◆第21回MANABI祭 【優秀賞】

ワンナカワツタ ワドゥゲ サシプラバ サンディパニ  
フラナンドさん(WANNAKAWATHTHA WADUGE  
SASIPRABHA SANDEEPANI FERNANDO)

スリランカ 女性 2024年4月来日

題名「笑顔と感謝の力」

みなさん、1日何回「ありがとうございます」と言いますか。それを考えてみると、日常で感謝の力が大切だと気がつきました。

わたしは今、アイスクリーム屋さんでアルバイトをしています。ある日、親子連れのお客様がきました。わたしはそのこどもにアイスクリームを渡しました。そのとき、こどものお母さんが「ありがとうございます」と言いました。でも、こどもは言いませんでした。そのあと、お母さんが「なんでありがとうといわなかったの」そのあと「ありがとうございます」と言っていました。その瞬間私は思いました。日本人のみなさんは、小さいことでも感謝しているんだな。そのお母さんがこどもにおしえていたのを見て気がつきました。その親子だけではなく、他のお母さんも自分の子どもに言っていたのを聞きました。

日本人はあいさつをちゃんとするように子どもに教育しています。スリランカでは「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつがありません。(この親子をみて、すごいと思った)

この経験から感謝の力の大切さがわかりました。日本人のみなさんは小さいことでも感謝することをわすれないですね。小さい時から「ありがとう」の力がわかれば自分だけではなく相手の人も幸せになります。アルバイトで「ありがとう」といわれたとき、本当にがんばろうという気持ちになります。「ありがとう」というのはただの言葉ではなく、心を温かくし、人に笑顔を与えることだと思います。

みなさん日常のできごとのちいさなことでも感謝することはないでしょうか。



私は日本へ来たばかりの時、生活をすべて自分でしなければなりません。私は一人っ子だから、母が全部のことをやってくれていました。りょうり、そうじ、せんたく、アルバイトもしたことがありませんでした。

そして、留学生のみなさん、病気のとき家族を思い出しませんか。私も病気の時、母の顔を思い出してがんばります。薬を飲んで治して、はやく学校にいきたいなあ、アルバイトにいきたいなあ。しかし、病気になっても1人でなんでもしなければなりません。家族とはなれているけど心は一緒にいるから、つらいこともがまんしてがんばろうという気持ちになりました。自分はできると信じて、つらいときや大変なときも笑顔で進むと自分で決めました。すると、なんでもできるようになりました。

皆さん、今からでもいいです。ちいさなことでも笑顔で感謝してみてください。そうすると、今よりもっと幸せになるでしょう。

日本人の皆さんは、感謝するのを忘れないでしょう。

留学生の皆さんも、笑顔で感謝するのを忘れないでください。自分のことを信じ、夢に向かって進みましょう。

そして、笑顔と感謝の力でもっと幸せになりましょう。

ご清聴ありがとうございました。

#### ◆第21回MANABI祭 【最優秀賞】

カドカ アニサさん (KHADKA ANISA)

ネパール 女性 2024年4月来日

題名「日本で学んだこと」

みなさん、日本の生活はどうですか。もちろん大変ですね。みなさんは自分の将来のために日本にきたと思います。私もそうでした。

私は日本に来てもうすぐ2年になります。この2年の間にいろいろな経験をしました。日本は本当に便利で安全な国ですが、外国人として生活するのは簡単ではありません。留学生にとって一番大きな問題は日本語だと思います。私にとってもそうでした。

日本語がわからなくて困ったことがたくさんありました。はじめて軽井沢にアルバイトに行くとき、小諸でどうやってのりかえるのかわかりませんでした。病気になったとき、どうやって病院の予約をとるのかわかりませんでした。スーパーで塩を買おうとしてさとうを買ったこともありました。はずかしいですね。ほかにも、日本人とのコミュニケーションやいろいろなこまったことがありました。

私が軽井沢で働いていたときも、日本語が本当に分からなくて、店長にいつも怒られていました。「アニサさん、なんであなたはそんな簡単なことができないの?」と言われました。私はいつもトイレに行って泣いていました。「国へ帰りたい」と思いました。そんなとき母が「がんばって、ぜったいにできるよ。どうして留学したの?それを思い

出してがんばって」と言ってくれました。時々そのことばを思い出して、今は一生懸命がんばって、レストランで働いています。

日本に来ていいと思ったこともあります。それは、あいさつです。コンビニやスーパーで「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と店員があいさつしてくれます。仕事に入るときは「おはようございます」帰るときは「おつかれさまでした」それは本当にいいことです。ネパールでは仕事が終わっても「おつかれさまでした」を言いません。

ほかにも、上田城ではじめてさくらをみたり、お祭りに行ったり、たくさんおもしろい経験をしました。

日本語以外に日本で大事なことは、ルールです。日本にはルールがたくさんあります。それらのルールはまもらないといけません。学校にもルールがあります。例えば授業のあと当番が自分の教室をそうじします。最初はおどろきましたが、いいことだと思います。なぜなら、自分たちが使う教室をきれいにし気持ちよく使うことができるからです。そして学生たちも教室をよごさないように心がけます。

みなさんに伝えたいことがあります。みなさん、わるいことをしないで日本のルールを絶対に守ってください。私は自立することを学びました。家から離れて生活する中で時間やお金、そして自分の責任を自分で管理しなければなりません。その経験によって私はより自信を持って大人になれたと思います。

みなさん、自分がこまったとき、自分で解決できるようになって、大変でもがまんしてがんばってください。ご清聴ありがとうございました。

#### ◆上田ロータリークラブ様への深謝

MANABI外語学院 藤森 幸路

皆様、二人のスピーチを最後までお聞きいただき、誠にありがとうございました。

上田ロータリークラブの皆様には、長年にわたり私どもMANABI外語学院の教育活動を温かく見守っていただき、先日の「第21回MANABI祭」に際しましても、多大なるご協賛、そして心温まる賞状を賜りました。

学生たちは皆様のご厚意に大きな希望をいただき、学習成果を発表することができました。この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。

サシプラバさん、アニサさん、お疲れ様でした。素晴らしいスピーチでした。

大勢の諸先輩方を前に、自分の思いを日本語でしっかりと伝えきった二人の姿は、私も誇らしく思います。

言葉の壁にぶつかりながらもこの上田の地で何かを掴み取ろうとする彼らの熱意が、皆様の心に届いていれば幸いです。



日本を目指し当校に在籍する全生徒は、上田地域の皆様の温かいご支援があってこそ、安心して日本語と日本文化の学びに邁進できております。

今後とも、留学生そしてMANABI外語学院へ、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

◆桑原 茂実さん



2月7日に開催された「第21回 MANABI祭」スピーチコンテストにおいて、審査委員長を務めて参りました。私はこれまで、欠席した1~2回を除き、ほぼ全てのMANABI祭で審査に携わってまいりましたが、今回のレベルの高さには驚かされました。

改めて、最優秀賞のアニサさん、優秀賞のサシプラバさん、本日は素晴らしいスピーチをありがとうございました。

日本語は、世界三大難関言語の一つに数えられるほど習得が難しいと言われていています。それを、来日からわずか2年足らずで、これほどまでに流暢に、かつ「心」を乗せて表現できるようになったことは、並大抵の努力ではありません。お二人の上達ぶりには、心から感動しています。

この上田の地で学び、悩み、成長し続ける留学生の皆さんの未来が、希望に満ちたものになるよう、これからも温かく見守ってまいりましょう。

[幹事報告]

湯田 勝己 幹事

1. 米山奨学会

ハイライトよねやま 311号

2. 地区事務所

第2600地区2025年度

米山奨学生終了式のご案内

第24回 R I 台湾囲碁大会のご案内

3. 上田六文銭RC

第79回 5クラブ親睦ゴルフコンペのご案内



[ニコニコBOX]

小山 宏幸 委員長

飯島幸宏さん 石井懋人さん 伊藤典夫さん 上原文明さん 内河利夫さん 小幡晃大さん 窪田秀徳さん 小林秀茂さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 酒巻弘さん 滋野眞さん 関啓治さん 関勇治さん 高橋鼓さん 滝沢秀一さん 竹田和徳さん 田中克明さん 成澤厚さん 比田井美恵さん 藤森幸路さん 布施修一郎さん 三井英和さん 矢島康夫さん 柳澤雄次郎さん 横沢泰男さん  
本日喜投額 26名 ￥ 29,000  
累計 ￥1,285,000

[例会の記録]

司会：酒巻 弘 会場・出席委員長

斉唱：ロータリーソング



●ゲスト紹介

- ◆MANABI外語学院 引率教員 坂井 幸子 様
- ◆KHADKA ANISHA(カドカ アニサ)様
- ◆WANNAKAWATHTHA WADUGE SASIPRABHA SANDEEPANI FERNANDO (ワннаカワッタ ワドゥゲ サシプラバ サンディパニ フラナンド)様

●会長挨拶 ●幹事報告

●ゲストスピーチ

- ◆引率教員 坂井 幸子 様 ご挨拶
- ◆WANNAKAWATHTHA WADUGE SASIPRABHA SANDEEPANI FERNANDO 様  
MANABI祭 優秀賞「笑顔と感謝の力」
- ◆KHADKA ANISHA 様  
MANABI祭 最優秀賞「日本で学んだこと」

[ラッキー賞]

MANABI外語学院 日本語講師 坂井 幸子 さん  
(滋野 眞さんより 雪中梅)

MANABI外語学院 学生 カドカ アニサ さん  
(上原文明さんより 名古屋のお土産 ゆかりとういろう)

MANABI外語学院 学生 ワннаカワッタ ワドゥゲ サシプラバ サンディパニ フラナンドさん  
(窪田秀徳さんより IKEAのお土産)



[出席報告]

酒巻 弘 会場・出席委員長

	会員数	出席ベース	出席者数	出席免除(b) ( )内は出席者数	出席免除(a)	メイクアップ ( )内はMake up後	出席率
本日 (2/16)	51	50	40	4(3)			80.00
前々回 (2/2)	51	50	44	4(3)	3(47)		94.00

[次回例会予定]

3月9日(月) オープン夜間例会 場所「SALO」

(3月2日発行)

【会報担当】 藤森 幸路 会報委員長